

里山防災林整備 神戸市北区大原・山田地区 森林整備計画案

2019年12月1日

1. 本事業地の現状と課題

◆現状

- ・山麓部、斜面は非常に急傾斜となっており、緻密で堅い地質特性から、表土も非常に堅く固結しており、表土流失も見られる。
- ・各森林はシロダモ、アオキなどが優占するなど、照葉樹林化が進んでおり、林内は非常に暗くなっている。
- ・特に、コナラーアベマキ群集やスギ群落で難者であり、暗くなったり林床には、植生がほとんど発達しない。
- ・北東部の民家の裏山斜面には多くの危険木が確認され、他にも電線などに被害を及ぼす危険木も數本確認された。
- ・ニュータウン造成時に排水路などが整備されており、危険な荒磯渓流はない。
- ・シカの生息が見られないため、多様な植物相(林縁部に種が多い)を有している。

2. 森林整備ゾーニングの考え方

- ・地元の意見や希望を取り入れ、整備後の地元による利用、維持管理を推進できるよう、管理歩道を含めた整備とする。

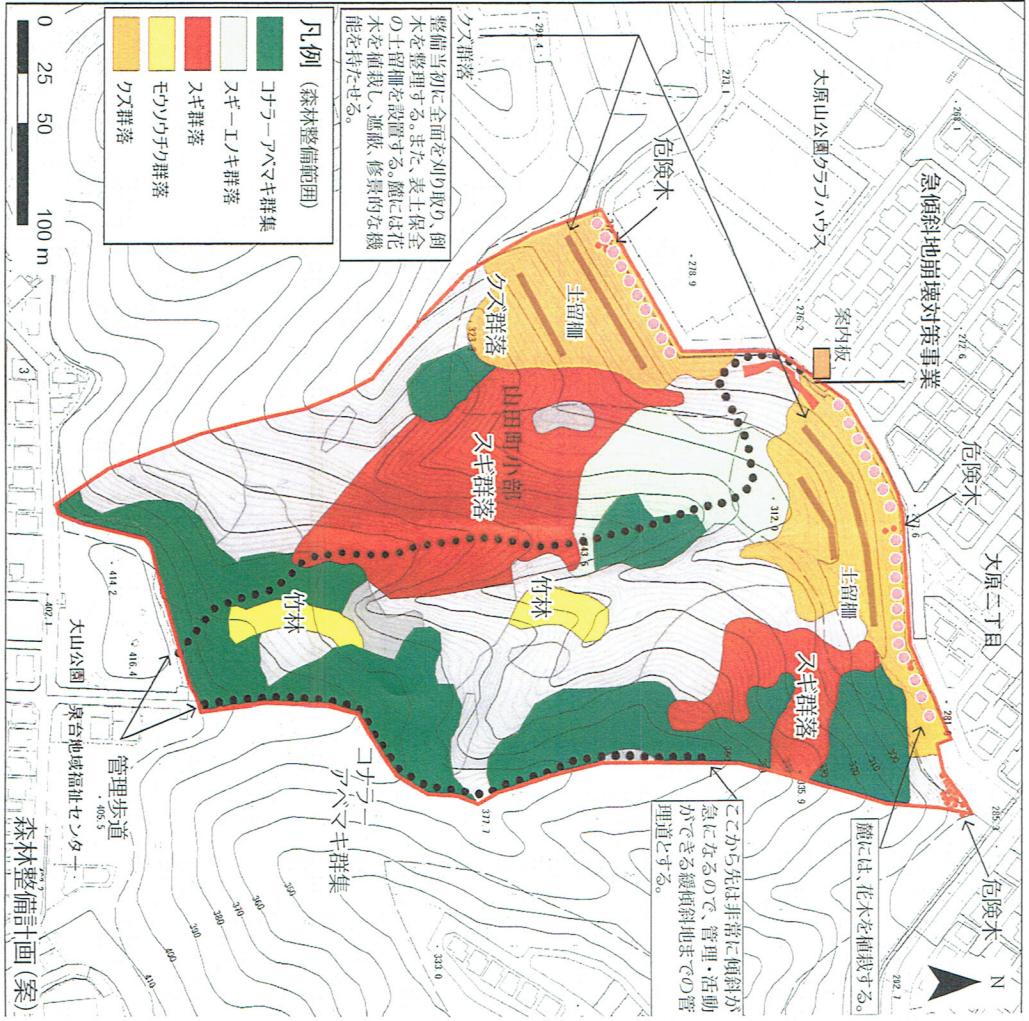
- ・ニュータウン造成時に排水施設が充実していること、土砂災害特別警戒区域指定箇所では、兵庫県による急傾斜地崩壊対策事業がすめられるため、今回は森林整備に重点を置く。
- ・植生ごとに課題、方針を検討し、その優先順位を検討する。

表 各植生の課題と整備方針

優先度	群落名	現状・課題	整備方針
高	コナラーアベマキ群集	重高木層に常緑樹のシロダモが優占し、林内は暗くなり、林床植生は貧弱である。	林床植生の発達を促し、表土の保全を図るため積極的に整備対象とする。また、種多様性の保全および市民の活動の場とする。地元の利用が考えられる場所には、花木を植栽する。
高	スギ群落	管理がされておらず、スギの生育密度が高く、樹形も不整である。重高木層には、シカが優占しており、林内は暗くなっている。	林内の雜木、特に重高木層のシロダモを除伐し、整ったスギ群落に整備する。伐採木による急傾斜地の表土保全を図る。
中	スギーエノキ群落	椎木林内にスギが侵入し、現在の混生する植生になったものと思われる。	林床への日照確保、植生再生を目的に整備を実施する。スギ、エノキの混交林とし、常緑低木の除伐を行い、明るい林を目指す。
中	モウソウチク群落	放棄竹林であり、枯損木、倒木が多い。活力は弱く、过大傾向は少ない。	周辺森林へのダメージを防止する必要がある。竹林は竹林で晴れのため、竹の簡易竹林へと整備する。
中～低	クス群落	クズが一面を覆い尽くし、景観上好ましくない、造成された1985年以降、森林が成立していない。	整備当初に全面を刈り取り、倒木を整理する。また、表土保全の土留柵を設置する。籠には花木を植栽する。
低	クマノミズキ群落	不安定な場所を断崖付ける難生である。第2低木層にアオキが発生し、林床による林床への影響が少ないので、積極的な整備は実施しない。	第2低木層でアオキが発生していることから降雨による林床への影響が少ないので、積極的な整備は実施しない。

◆課題

- ・山麓部の急傾斜地における表土の流失。
- ・シカの食害はないが、コナラ林、スギ林における照葉樹林化による林床植生の劣化。
- ・山麓のクス群落の対応(景観的に好ましくないが、管理するのも困難であり、どのように対応が可能か検討する必要がある)。



大雨時などの避難のタイミングと避難場所・ルート

① 大雨に関する気象情報が発表されたら

大雨注意報
今後の雨の降り方に
注意しましょう

大雨警報
周囲の状況に
注意しましょう

土砂災害警戒情報
避難を判断します

避難勧告
避難を始めましょう

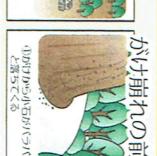
避難指示
直ちに避難して下さい

② 避難勧告、避難指示が出されたら

避難勧告
避難を始めましょう

避難指示
直ちに避難して下さい

③ 避難場所



集落裏山危険箇所診断マップ

- ・大原地区の裏山の危険箇所、チェックすべき箇所などを示します。
- ・災害時だけでなく、日常的な注意、大雨が過ぎたあとの見回り・チェックなどに活用して下さい。

